

強い日本を取り戻す

○自民党が政権奪取

○将来への不安解消

・まじめに頑張っている人を守る雇用政策

・年金との逆転現象の解消
生活保護の見直しに着手

○毅然とした外交

尖閣・竹島・北方・北朝鮮に対して、自衛隊強化

(戦争は反対だけど、抑止力は必要)

○日本の強みを生かした産業復興

- ・山中教授 i p s 細胞
- ・コンピュータ世界一
- ・物づくり日本の復活



光栄にも山笠台上がりを経験させていただきました。ありがとうございました。

議員として、色々な経験を積まさせていただきます。微力ですが、色々な経験を市政に反映させていただきます。



東区ソフトボール協会の副会長に就任しました。

今林ひであき 市政報告

【発行者】

福岡市東区
塩浜一丁目16-25
今林ひであき事務所
TEL. 092-605-6515



○新型インフルエンザ対策

・福岡市は、こども病院にある感染症ベットを県に返上
・政令市の市立病院で感染症ベットがないのは、福岡市だけです。

・確かに「子ども」と「感染症」、「こども病院」での対応は危険です。

・過去の新型インフルエンザでは、市民病院で対応、しかし、専用ベッドがなく、仮設テントのため、お粗末でした。

私は、市民の命を守るため、新型インフルエンザなどの感染症に対して、ベッドを返上するのではなく、専用ベッドを市民病院で確保しての感染症対策が必要だと思います。

「屋台」の在り方を考える前に、まずは指導徹底

○屋台は必要ですか？

市長は観光として必要の考え

「ぼったくり」「道路はみ出し」

「不衛生」などの現状

従前の方針、平成12年結論

「原則、一代限り」であり、

「将来は、無くす方針」

(全国的にも路上屋台は減少)

(最近、屋台村などで復活)

○新しく屋台の在り方を検討する前に、まずは、問題がある

路上の屋台を指導徹底して、

その後、必要なら、全国でも

復活している屋台村として、

新たな観光名所にして見ては

市長へ、屋台を観光資源として残したいなら、その前のルールの徹底が先

東日本大震災の災害廃棄物処理(日本の絆で再生)

○「昨年の六月議会」

・市のとんでもない答弁

「放射能がゼロでないため、博多湾が汚染、災害廃棄物は受入れない」

・放射能は、地球上のどこでもゼロではないので、市の答弁は矛盾します。

・放射能専門家の九大大学院の出光教授によれば、

「博多湾は汚染はされない、理由は、自然界の放射能レベル以下だから」

・市の判断根拠は、土壤汚染の専門家、問い合わせでは、

「放射能のある場合が、前提であり、放射能があるかどうかは判断せず」

市民に、正しい情報提供が必要

日本も福岡市も、前向きに進んで、日本再生

○市民には、まだ、自民党は信任されていない。

○でも野党には任されない古い自民党の改革が必要そして、「信頼」を取り戻す。新しい息吹が必要。

○我が東区・博多区出身の国会議員、新人2名誕生私は、新人の党内改革に、期待し、支援します。

○オールジャパンで、日本の「絆」を大切に

〓〓意見をお願いします。